

I 展示活動

1 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

2 企画展及び関連事業

(1) 常設展拡大企画

昭和の暮らし展－「着る」にまつわる道具たち－

シリーズ3回目は、約60年前までに使われていた衣類にかかわる昔の道具や写真など71点の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介した。

- ・会期 平成31.1/4(金)～令和元.5/19(日)
- ・入館者数 2,692人(4/1～5/19は1,053人)
- ・展示点数の内訳

民俗資料46点 写真22点 イラスト3点

●手織り体験と葛塚綿手織り機の実演

実施日 4/6(土)・13(土)・20(土)・27(土)、
5/4(土・祝)

講師 葛塚綿手織りの会

- むかしのおもちゃであそぼう 会期中随時
- むかしの衣類を着てみよう 会期中随時
- 展示解説会

実施日 4/27(土) 参加者数 1人

講師 曾部珠世



葛塚綿手織り機の実演

(2) 所蔵作品展「人間はどこにいる？」

所蔵作品を公開する第2回展。美術・書作品12点を紹介し、それらの作品の世界を通して「人間」の存在とそのありようを見つめる。

- ・会期 6/1(土)～7/15(月・祝)
- ・入館者数 840人
- ・展示点数の内訳

絵画7点 彫刻2点 版画1点 書2点

- ・出品作家 上田桑鳩、齋藤満栄、高野常与志、
高橋清、富岡惣一郎、長沢明、
羽田信彌、本間公司、味方海山

●作品鑑賞会

実施日 6/9(日) 参加者数 19人

実施日 6/30(日) 参加者数 12人

実施日 7/14(日) 参加者数 10人

講師 神田直子

(3) 第22回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、新潟市内の小学校3年生～中学校3年生を対象に、書に親しむ機会づくりの一環として開催。令和元年度から新しい課題で出品を募った。入賞作品229点を展示。また、中学1年生の課題「河童の沼」にちなみ、文学作品『河童のユウタの冒険』に関連するパネルを展示。

・会期 7/27(土)～8/25(日)

・入館者数 1,133人

・審査員(50音順)

伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館 学芸員)

岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部 教授)

小黒 五稜氏(書家・新潟県書道協会顧問)

和泉 哲章(新潟市教育委員会副参事)

・応募校等

北区内 …小学校12校

中学校 6校

市内他区…小学校 1校

中学校 3校

書道教室… 9校

個人応募… 2人

・学年別応募数内訳(点)

()内は教室・個人

小3	511 (51)
小4	679 (77)
小5	490 (45)
小6	493 (54)
中1	397 (37)
中2	97 (29)
中3	89 (23)
合計	2,756 (316)

- ・入賞者数 松蔭賞 7人(各学年1人)
- 229人 優秀賞 21人(各学年3人)
- 特選 70人(各学年10人程度)
- 佳作 131人(各学年20人程度)



「人間はどこにいる？」作品鑑賞会



第22回 松蔭賞書道展

(4) 第13回 新潟市北区こども科学展

北区の小・中学校の児童・生徒を対象に、科学教育の振興を図ることを目的に開催。子ども達の創意工夫、探究心あふれる作品237点を一堂に展示し、広く市民に紹介した。最優秀賞3人、優秀賞12人を選出。

なお、令和元年度に部門のひとつを「自然科学写真の部」から「観察・実験の部」と変更した。

- ・会期 9/21(土)～10/14(月・祝)
- ・入館者数 1,319人
- ・審査員 永井 一哉(新潟市立濁川中学校長)
桑原 通泰(新潟市立豊栄南小学校長)
今井 真悟(新潟市北区教育支援センター 指導主事)
参宮 直樹(新潟市北区副区長/北区地域総務課長)
木村 隆行(当館館長)
- ・出品校 北区内小学校 12校
- ・出品点数(出品者数) …237点(237人)
 模型の部 …116点(115人)
 標本の部 … 16点(16人)
 発明工夫の部 … 14点(14人)
 観察・実験の部 … 91点(92人)

(5) みると使う アートと道具のはざま展

生活のなかで使われた「道具」の美、「実用」における工芸美を再認識するとともに、「みる」ことに特化した「アート」のありようをみつめる企画展。

日常を超えた「アート」の世界に触れてもらうことを主眼とし、民具や工芸品などの《道具》と、道具の外観を呈する《アート》、そのはざまに成立する《用と美の造形》という3部構成を試みた。作品28点を展示した。

- ・会期 11/16(土)～12/15(日)
- ・入館者数 642人
- ・展示点数の内訳 ※太字は当館所蔵資料
 立体造形10点 **版画2点** **看板1点**
衝立1点 **屏風1点** **陶磁1点**
中国文房具6点 **染織1点** **中国家具1点**
工業製品1点 **民具3点**
- ・出品作家 池田純夫、猪爪彦一、上田桑鳩、帰山雲涯、
鈴木香雲、弦巻松蔭、羽田信彌、深井隆、
古川敏郎、村穂久美雄

●作品鑑賞会

- 実施日 11/17(日) 参加者数 11人
- 実施日 12/ 8(日) 参加者数 3人
- 講師 神田直子

(6) 常設展拡大企画

昭和の暮らし展 - 「住まい」の道具イロイロ-

約50～70年前まで使われた道具から、昔の生活、人々の知恵・工夫を紹介するシリーズの4回目。囲炉裏の回りや水回りなどの「住まい」に関わる道具や写真など84点を展示(p.3に関連記事)。

- ・会期 令和2.1/4(土)～5/17(日)
 (4/21～5/10は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)
- ・入館者数 2,049人(1/4～3/31は1,715人)
- ・展示点数の内訳 民俗資料56点(参考資料2点含む)
 写真22点 イラスト6点
- 手織り体験と葛塚縞手織り機の実演
 実施日 1/11(土)・18(土)・25(土)、2/8(土)・22(土)
 (3/14・28、4/11・25、5/9は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
 講師 葛塚縞手織りの会
- ふろしきで包んでみよう 会期中随時(5月から中止)
- 昔のおもちゃで遊ぼう 会期中随時(3月から中止)
- 天びん棒を担いでみよう 会期中随時(5月から中止)



第13回 北区こども科学展



みると使う アートと道具のはざま展



昭和の暮らし展(小学校3年生の見学)

II 教育普及事業 (講座・教室・講演会・講師派遣等)

(1) 講演会「[わたしたちの美術館]のかたち」

- ・主催 阿賀北美術協会
- ・事業名 美術館に係る学習会
- ・期日 6/15(土)
- ・講師 神田直子(講師派遣)
- ・参加者数 80人
- ・会場 新発田市生涯学習センター

(2) 夏休み はくぶつかん体験コーナー

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。特色ある区づくり事業「公共施設利用促進バス事業」(担当：北区地域総務課)に伴い開催。

- ・開催期間 7/27(土)～8/18(日)
- ・期間中入館者数 942人
(葛塚東小学校ひまわりクラブ148人の利用を含む)
- ・内容
大きな折り紙で遊ぼう(新聞紙などを活用した折り紙)
北区パズル(「北区のお宝マップ」を活用したパズル)
金文クイズ(漢字の成り立ちを学ぶクイズ)
野良着を着てみよう
- ・協力 当館市民ガイド

(3) 講座「美術鑑賞 名画をめぐる」

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・期日 8/10(土)
- ・講師 神田直子(講師派遣)
- ・参加者数 40人
- ・会場 新潟市葛塚コミュニティセンター

(4) ふるさと歴史講座(講座と見学会)

- ・主催 新発田市豊浦地区公民館

① 講座「福島潟と人々の暮らし」

- ・期日 8/20(火)
- ・講師 曾部珠世(講師派遣)
- ・参加者数 30人
- ・会場 新発田市豊浦地区公民館

② 新潟市北区郷土博物館見学会

- ・期日 8/27(火)
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 20人
- ・常設展示説明協力 市民ガイド1人

(5) 第29回 博物館まつり

見る・聞く・触れるなど様々な体験を通して、郷土の伝統文化、歴史などを紹介した(詳細はp.2参照)。

- ・開催日 11/2(土)～11/4(月・休)
- ・参加者数 延べ1,020人(3・4日のみ)

(6) 講座「現代美術入門

ー道具と芸術(アート)はどこが違うのかー

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・期日 11/9(土)
- ・講師 神田直子(講師派遣)
- ・参加者数 40人
- ・会場 新潟市葛塚コミュニティセンター

(7) 講座「昔の冬の暮らし」

- ・主催 新潟市豊栄地区公民館
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・期日 令和2.1/9(木)
- ・講師 曾部珠世(講師派遣)
- ・参加者数 30人
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

(8) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、郷土史関連図書の見学対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力



夏休み はくぶつかん体験コーナー(大きな折り紙で遊ぼう)



新発田市豊浦地区公民館ふるさと歴史講座(見学会)

Ⅲ ふるさと学習への対応

(1) 学校教育の一環としての利用

常設展示及び企画展「昭和の暮らし展」などの見学を通して、小学3年生の「昔の道具と暮らし」、小学4年生の「福島潟の干拓の歴史」などの説明を行い、学校教育の一環としての博物館利用に対応し、学習の場を提供した。対応にあたり、市民ガイドの協力をいただいた。

①高志中等教育学校

（「総合的な学習の時間」インタビュー対応）

- ・期日と人数 6/27（木）・10人（生徒）
- ・会場 新潟市北区役所
- ・出席 木村隆行

②木崎小学校・笹山小学校3年生

（出前授業「木崎地域ってどんなところ？」）

- ・期日 7/4（木）
- ・人数 木崎小学校3年生59人、笹山小学校3年生13人
- ・会場 新潟市立木崎小学校
- ・講師 木村隆行

③葛塚東小学校2年生

（生活科「わたしの町大すき」での見学）

- ・期日と人数 9/26（木）・3人（児童）
- ・会場 常設展示室
- ・講師 木村隆行

④葛塚東小学校4年生（社会科「昔から今へと続くまちづくり 福島潟の干拓の歴史」）

- ・期日と人数 11/20（水）・28人
- 11/22（金）・62人
- 11/27（水）・29人
- ・会場 常設展示室
- ・講師 曾部珠世

⑤早通南小学校3年生（新潟市文化財センター主催 出前授業「昔の暮らし・昔のあそび」への協力）

- ・期日と人数 11/26（火）・101人
- ・会場 新潟市立早通南小学校
- ・講師 木村隆行、齋藤加奈

⑥岡方第二小学校3年生（昔の農業について）

- ・期日と人数 12/18（水）・16人
- ・会場 常設展示室
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド2人

⑦木崎小学校3年生（社会科「昔の道具と暮らし」）

- ・期日と人数 令和2.1/16（木）・31人
- 1/22（水）・32人
- ・会場（両日） 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」
- ・講師（両日） 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド3人

⑧岡方第二小学校3年生（社会科「昔の道具と暮らし」）

- ・期日と人数 1/16（木）・14人
- ・会場 ホール「昭和の暮らし展」
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド2人

⑨葛塚小学校3年生（社会科「昔の道具と暮らし」）

- ・期日と人数 1/17（金）・62人
- 1/21（火）・59人
- ・会場（両日） 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」
- ・講師（両日） 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド3人

⑩葛塚東小学校4年生

（「福島潟の干拓の歴史」インタビュー・昔の道具調査）

- ・期日と人数 2/12（水）・60人
- 2/14（金）・40人
- ・会場（両日） 常設展示室
- ・講師（両日） 曾部珠世

⑪葛塚東小学校3年生（社会科「昔の道具と暮らし」）

- ・期日と人数 2/19（水）・60人
- ・講師 齋藤加奈、市民ガイド2人
- ・期日と人数 2/26（水）・30人
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド1人
- ・期日と人数 2/28（金）・30人
- ・講師 齋藤加奈、市民ガイド2人
- ・会場（3日間とも） ホール「昭和の暮らし展」

(2) 一般の地域学習の場としての利用

①新発田市豊浦地区公民館主催 当館見学会（再掲）



葛塚東小学校4年生 福島潟の干拓の歴史



早通南小学校3年生 出前授業（昔のあそび）

Ⅳ 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動

(1) 市民ガイドの活動実績

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行った(登録13人)。

- ・一般団体見学対応 4回
見学者146人、市民ガイド延べ9人
- ・個人見学対応(大型連休、こども科学展会期中の土日祝の待機ほか) 24回
見学者425人 市民ガイド延べ54人
- ・学校見学対応(再掲) 9回
見学者334人 市民ガイド延べ21人

(2) 市民ガイド研修

ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

①新潟市文化財センター企画展見学・講演会の聴講

講演会「古代の阿賀北ー北方社会との接点を探るー」(講師 加藤学氏・福島県教育庁文化財課)の聴講と、企画展「砂丘と遺跡Ⅲー阿賀北の砂丘上の遺跡ー」の展示説明会(講師 遠藤恭雄学芸員、今井さやか文化財専門員)に参加し、理解を深めた。

- ・実施日 5/19(日)
- ・研修場所 新潟市文化財センター
- ・参加者数 市民ガイド4人
- ・担当 木村隆行、曾部珠世

②当館企画展関連研修・情報交換

「所蔵作品展 人間はどこにいる？」の市民ガイド向け研修(担当 神田)と、平成30年度のガイド実績報告、ガイドを行う上での課題などの意見交換(担当 曾部、齋藤)を行った。

- ・実施日 6/30(日)
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド8人
- ・担当 神田直子、曾部珠世、齋藤加奈

③新潟県立文書館特別企画展見学・解説講座の聴講

特別企画展「江戸時代の庄屋さまは超多忙!?~越後・佐渡の村役人の世界~」の見学と、解説講座(講師 横田亮氏・同館主任文書研究員)の聴講をし、近世文書についての理解を深めた。

- ・実施日 11/6(水)
- ・研修場所 新潟県立文書館
- ・参加者数 市民ガイド3人
(ほかに、北区古文書解読研修会より3人)
- ・担当 木村隆行、曾部珠世

④ガイド実践研修

小学校のふるさと学習での常設展示の説明や昭和のくらし展の説明に対応するための、「予習・実践・振り返り」等の実践的な一連の研修を行った。

- ・実施日 12/17・18、
1/10・11・16・17・21・22、
2/19・26・28 ※太字は予習
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド延べ12人
- ・担当 曾部珠世



市民ガイドによる団体への常設展示ガイド



市民ガイド研修 新潟市文化財センター企画展見学



市民ガイド研修 当館企画展での研修

V 開館50周年記念誌の発行

「開館50周年記念誌 新潟市北区郷土博物館年報・紀要 2009.4-2019.3」を作成(詳細はp.12参照)。

VI 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・新潟大学4年生 2人
- ・8/22(木)～8/30(金)のうち7日間

(2) 中学生職場体験

- ・新潟市立光晴中学校2年生 2人
- ・7/2(火)～7/4(木)の3日間



大学生の博物館学芸員実習

VII 資料(指定文化財を含む)の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録

- ・収蔵資料くん蒸処理 10/21(月)～10/25(金)
平成30(2018)年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸し、郷土資料収蔵庫に収蔵した。
- ・防虫防菌処理 郷土資料収蔵庫 10/23(水)

(2) 収蔵資料等の整理(外部依頼)作業の記録

- ・歴史資料の再整理(杉本耕一氏へ依頼)
 - ・資料名 市指定文化財「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
 - ・作業日数 延べ4日

VIII 北区の文化財(指定文化財ほか)の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

①市指定文化財の歴史資料の再整理

- ・「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書の再整理(再掲)

②地震等による被害調査及び活用等についての調査

- ・法淳寺(市指定文化財)地震被害確認 6～7月
- ・太古山日長堂(国登録文化財)活用等の相談・調査 10月

(2) 公開活用

①指定文化財資料の他館への貸出

- ・木崎小作争議関係資料3点(新潟市歴史博物館)
- ・上黒山遺跡出土品5点(新潟市文化財センター)

②市指定無形民俗文化財等の郷土芸能の公開

- ・博物館まつり「郷土芸能発表会」(再掲)
 - ・開催日 11/3(日・祝)・11/4(月・休)
 - ・出演団体 2日間で16団体(団体名はp.2に掲載)

③文化財等説明板の設置・修繕

- ・板面修繕 2件
(新崎の歴史と諏訪神社、新崎に残る新井郷川の川跡)
- ・塗装 2件
- ・文化財等説明板にQRコード追加 18件
QRコードを読むと、『ガイドブック 北区のお宝ものがたり』が表示され、詳しい説明等を読めるようにした。



右下にQRコードを付けた文化財等説明板

(3) 指定天然記念物の保護育成

県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」についての対応。

IX 特色ある区づくり事業 「郷土芸能伝承支援事業」

(平成29年度～令和元年度の3ヵ年事業の最終年度)

(1) 過去に撮影した映像のデジタル編集とDVD制作

詳細はp.12参照。

(2) 北区の地域のまつりについての情報発信

当館ホームページに「神楽・獅子舞マップ」と各地域の春・秋まつりの日程等を掲載した。また、「北区役所だより」8月4日号に秋まつりの日程等を掲載し、情報発信をした。

(3) 神楽のお頭の幕製作

他門神楽保存会から寄贈を受けたお頭を展示や体験で活用するために幕を製作した。

(4) 博物館まつり「郷土芸能発表会」(再掲)

※郷土芸能伝承支援事業の3年間の事業報告は、『開館50周年記念誌』p.43・98～113に掲載した。